

ALL-STOCKS NETWORK

ホワイトペーパー 2018 年

目次

概要	3
イントロダクション	4
歴史的アセットバックトークン	6
システムアーキテクチャー	6
ALLSTOCKS システムの導入	8
ALLSTOCKS インフラストラクチャ	11
規制と実施	12
分散的な事業	14
リアル・ファイナンス・アセットバックトークンの利用	15
トークン販売	16
総トークンの供給 :	16
結論	18
責任の放棄	20
ALLSTOCKS リスクと不確実性	22

概要

ALLSTOCKS ネットワークは、世界中のすべての主要証券取引所および株式ブローカーとのインターフェイスを目指す分散グローバル株式取引プラットフォームです。また、実際の金融資産に裏付けられた暗号トークンの取引も可能です。ネットワークは分散型システムを構築し、すべてのステークホルダーが **ERC20** 標準と互換性のあるトークンで取引できるようにします。これらの裏付資産はエスクロー口座に保管されます。さらに、このネットワークにより、ユーザーはブロックチェーン技術上の金融資産（通貨や債券など）を取引することができます。

さらに、**ALLSTOCKS Network** はジェネリック API インターフェイスを公開し、開発者が **ALLSTOCKS** トークンを使用して投資、ヘッジおよび取引を行うためのツールとアプリを開発する能力を強化します。さらに、暗号通貨に向けられていく分散化された組織は、安定した資産を通じて資金を保護することができます。ネットワークにより投資家が多様な投資ポートフォリオを管理できるようになると同時に、企業は容易かつ柔軟に資本を発行することができます。

イントロダクション

ブロックチェーン 技術は、デジタルブロックを使用してトランザクションを記録および保存するために使用されるオープンな分散テクノロジーです。ブロックチェーン技術のブロックは、公開されているデータベースを表します。さらに、チェーン内の各ブロックは、トランザクション履歴、真正性証明書、所有権証明書、契約書、金融取引などの情報を含むコンピュータコードである。また、データベース内のブロックは、デジタルチェーンを使用して相互に接続します。ますます多くの情報が追加されるため、ブロックチェーン技術は日々大きくなります。それは 2008 年に ナカモト サトシによって発明されましたが、2009 年後半に実施されました。素晴らしい発明の 1 つ ブロックチェーン 技術は、暗号通貨やデジタルマネーを提供しています。暗号通貨の例は、Bitcoin、Ripple、Ether などです。暗号通貨では、貨幣転送はハットのドロップで行われ、改ざん防止ネットワーク です。結果として、今日まで、盗聴者 がネットワークに侵入した と報告されたケースは一度もありません。ブロックチェーン技術の他の機能のいくつかは、ノードのピア・ツー・ピア接続、暗号的に有効なセキュリティ、コンセンサス・メカニズム、透明性、およびデータの不変性が含まれます。

確かに、ブロックチェーン は、数学的アルゴリズムと関数を使用して、第三者または中央当局の承認なしにトランザクションを実行できるようにする、高度に安全な分散型元帳システムを作成します。したがって、「分散型テクノロジー」という名前になります。この次世代テクノロジーでは、ユーザーはクローズド ノードの背後にある次のユーザーが誰であるかわからないため、信頼が問題になります。そうした取引を行うために信頼できる第三者機関（銀行など）は存在しないため、信頼関係は問題です。実際、これは、システムのノードがトランザクションを検証する前にコンセンサスのシステムが採用された理由を説明しており、したがって、それは信頼できないシステム とみなされます。ブロックチェーン技術 では、ユーザーは、検証確認および検証されるまでは伝播されたトランザクションを信頼する必要はありません。トランザクションの検証後、それらはブロックチェーンと呼ばれる分散元帳に記録されます。一旦記録されると、情報を変更することはできません。通常、各ブロックにはトランザクション情報、ハッシュポイント、およびタイムスタンプが含まれています。

システムは、マイニングというプロセスを通じて新しいブロックを追加します。すべてのブロックにはいくつかの情報が含まれています（上記の同じトランザクションでも可）。ユーザーの確認と確認の対象です。さらに、ユーザーはノード内に分散元帳のコピーを保持します。システムに参加するには、ユーザーがウォレットを持っている必要があります。今日、ブロックチェーン技術は世界を席巻しており、ブロックチェーン技術を使って多くの分野を自動化する研究が進行中です。

ブロックチェーン技術により、幅広い業界やセクターの信頼できる仲介者の必要性がなくなります。支払いの媒体としてのその使用は、制度的レベルで合法的に疑問があるので、その採用は一般的な課題となっている。暗号通貨を全面的に使用するサイロは、いくつかのボトルネックとチャレンジを生み出し、伝統的な金融資産への変換にはあまり効果的ではありません。暗号交換、支払い処理業者、金融機関による口座保有者に課された遅延や手数料の結果、暗号通貨から通貨への変換から生じる課題があるようです。暗号市場のボラティリティと透明性の欠如は、機関投資家や伝統的な個人が暗号市場に参入するのを妨げている欠陥の一部です。さらに、分散型投資家、分散型ファンド、暗号投資家は、投資を伝統的な持株に多様化する機会を制限している。さらに悪いことに、投機的投資、価値移転手段、クラウドファンディングとして取引を円滑化するために、マイナーは暗号通貨で報酬を受けています。暗号化市場、分散型プロトコルが完全に開発されるまで、（規制されていない交換のために）、市場のリスク（揮発性暗号化をアーキテクチャの容量を超えて使用することから襲ってくる）、ICF（Initial Crowd Funding）、関連するリスク（暗号契約による）セキュリティと詐欺のリスクが非常に高くなります。しかし、伝統的な金融では、これらの業務はすべて規制され、システムミック・リスクの管理に役立ちます。

その結果、このホワイトペーパーでは、暗号環境の限界と課題について検討しています。さらに、最終的には、既存のシステム技術インフラストラクチャを活用してこれらの欠点に対処する実現可能なソリューションを提供し、ステークホルダーが情報に基づいた意思決定を行うのを支援します。

歴史的アセットバックトークン

ALLSTOCKS ネットワークの主なステークホルダーは、ブロックチェーン技術と暗号通貨に伴うすべての利点を引き出そうとするユーザーです。これらの利点には、低送金、安全な取引、インスタント転送が含まれますが、これらに限定されません。他のステークホルダーには、暗号経済の高い収益から恩恵を受けようとする伝統的な投資家と、潜在的な資金提供者すべてに対して透明性を保つために、低利資産で多様性を持たせようとする分散組織が含まれます。

すべてのステークホルダーのニーズを満たすために、伝統的な金融商品をブロックチェーンに移行することが好都合です。この目的のために、繋がれたトークン、法定通貨の裏付け付きのトークンは、それらが表す原資産と併合されなければならない。この戦略が採用されれば、繋がれたトークンを通貨や商品を示すために使うことができます。また、金融市場のツール、通貨、コモディティをブロックチェーン技術でシームレスに取引するために、トークンを発行して従来の資産を保管するスタンパーを開発することができます。

システムアーキテクチャー

このホワイトペーパーのコンセプトは、ステークホルダーが情報に基づいた意思決定を下すためにシステムアーキテクチャを活用することであるため、システムアーキテクチャを検証する必要があります。従来の資産をブロックチェーンで取引することは不可欠であり、次の要因がそのような前進を促進するのに役立ちます。

暗号通貨交換：デジタル通貨と現地通貨での現金通貨口座をユーザーに提供するため、暗号化交換は重要な役割を果たします。これらのサービスは、ユーザーがそのような暗号通貨を購入し、送信し、販売し、反対に暗号通貨を法定通貨に変換するために必要なフレームワークを提供することを支援します。したがって、交換は、考慮に入れなければならない有用なシステムアーキテクチャです。

パブリックブロックチェーン：すでに議論されている制約と課題のためにパブリックブロックチェーンに依存することは賢明ではないため、安全なパブリックブロックチェーンにより、ALLSTOCKS システムに必要なサポートが提供されます。

スタンパー：繋がれたトークンが希望の値を保持していることを確認します。実際には、スタンパーは従来の資産を保持し、繋がれたトークンに結びつけています。それ以外にも、原資産の所有権の譲渡または移転時に、トークンを償還して破棄します。

アプリケーション層：一度確立されると、繋がれたトークンの能力を活用する幅広いアプリケーションが開発されます。これらの機能には、取引プラットフォーム、送金口座、支払いプロセッサが含まれます。ユーザーフレンドリーなライブラリとコードテンプレートを備えた専用アプリケーション層は、アプリケーションの開発を促進します。

繋がれたトークン：実際の金融資産を裏付ける伝統的なトークンを作成するには、繋がれたトークンが必要です。また、ブロックチェーンに保持されている従来の資産ごとにトークンが作成されます。これにより、これらの原資産が売却されるたびにトークンが自動的に破棄されることが保証されます。

所有権の譲渡：繋がれたトークンが発行されると、基になるすべての資産を、一致する暗号通貨で取引することができます。この操作を実行する手順を以下に示します。

- ユーザーが法定通貨をスタンパーに送信する
- スタンパーは OK を返し、ALLSTOCKS の繋がれたトークンを返します。
- ユーザーは、ALLSTOCKS の繋がれたトークンを取引または保持することができます。
- 次に、ユーザーは自分のトークンを引き換えます。
- 最後に、スタンパーは法定通貨をユーザの口座に送金します

スタンパーの保証により、基礎資産は後で償還され、繋がれたトークンはすべての必要な支払いを行うためにシステムに保管することができます。

料金：デジタル資産と伝統的資産が移転されるたびに料金が常に適用され、これらの費用は計上されなければなりません。

規制：所有権のオフ・チェーン移転を示すために使用されるオンチェーン・トランザクションは、それに応じて管理されなければならないだけでなく、また、地方および外国の規制を満たします。適切な監督とガバナンスを確保するために基本的な規制アルゴリズムを策定すべきであると言えます。また、すべての取引は KYC / AML の要件を満たしている必要があります。

ALLSTOCKS システムの導入

前述の欠点に対処するために実装された ALLSTOCKS システムの各コンポーネントの役割について説明します。

Ethereum ブロックチェーン : Ethereum は、もともと、プログラマーの Vitalik Buterin によって書かれました。Buterin は、2013 年に Bitcoin Magazine で働いていました。Buterin 氏は、Bitcoin には、アプリケーション開発のためのプラットフォームを提供するプログラムが必要であり、全く新しいプラットフォームを提案する必要があると主張しました。しかし、2014 年に最終的にアナウンスされた時に、Anthony Di Lorio、Charles Hoskinson、Mihai Alisie の 3 人は、Buterin 氏に加わり、Ethereum という新しいブロックチェーン技術ベースのプラットフォームのリリースを発表しました。

さて、Ethereum は、システムの参加者間の取引から採掘報酬を切り離すので、この目的に適切に適合します。それを達成するために、Ethereum は Ethereum ガス (Ethereum で取引を実行するために支払われた価格) として鉱業報酬を単に表し、繋がれたトークンは採掘プロセスの一部とします。

Ethereum Mining : Ethereum を掘り起こすためには、システムをスムーズに動かすための暗号トークンである Ether を勝ち取るために、いくつかの暗号パズルを解決する必要があります。Ether はまた、Ethereum ネットワークの開発者が料金やサービスを支払うことを可能にします。Ethereum を採掘するには、以下の手順を実行します。

- コンピュータを手に入れよう。それが良いスピードを持っていることを確認しましょう
- Ethereum ノードを実行するソフトウェア "geth"をインストールします。ソフトウェアを検索してダウンロードしてから続行してください
- ダウンロードとインストールの後、ノードは Ethereum ネットワーク上の他のノードと通信することができます
- アプリケーションのテストをしてください
- Ethminer をダウンロードしてインストールします
- 鉱山プールに参加して Ethereum を採掘し始めましょう。

さて、Ethereum を採掘するにはこれが全てです。

暗号化トークン (CTT) : CTST は、ALLSTOCKS システムで保持されている実際の金融資産を表す繋がれたトークンです。ALLSTOCKS の計画は、すべての決済通貨とすべての金融商品をサポートできるようにすることです。将来的に資産を追加する計画もあります。

法定通貨 : 前述のとおり、ALLSTOCKS は国際的に取引可能な多くの通貨をサポートします。これらの法定通貨には、米ドル、ユーロ、英ポンド、ルーブル、米ドル、円などが含まれます。リストされた法定通貨は現在ネットワークが支えているものですが、対応する法定通貨を増やす努力が着実に行われています。

マネーマーケット・インスツルメント : ALLSTOCKS は、安定した低利回り資産を提供するように強化されました。投資家は、米国財務省証券に繋がれたトークンを購入することができます。それが完了した時点で、実際の金融資産が成熟するまで、配当と利益は引き続き発生することになります。配当と利益があれば、現在の CTT 保有者に平準 CTT として与えられます。ALLSTOCKS を開発する努力は継続的なものであり、将来的にはより多くの金融機関がネットワークに組み込まれ、新たに追加された金融機関を支援するために金融商品が強化される。

規制遵守 : CTT はプログラムできるので、特定の規制を満たすために埋め込むこともできます。しかし、法令は制限されませんが、他の金融資産の購入と再販は地域とクラスによって制限されなければなりません。これが達成されれば、完全に準拠します。そして、この単純なロジックはすでに CTT に組み込まれています。

エスクロー口座 : このネットワークで使用されるすべての金融資産は、ALLSTOCKS 発行の CTT に代わってエスクロー口座に保持されます。オフチェーン活動は、システムの大きなコンポーネントがオフチェーンになるため、認可された規制当局の監視と入力が必要です。さらに、システムの信頼性と透明性を犠牲にすることなく、完全なコンプライアンスを確保するためには、ステークホルダーの相互作用を十分に管理することが不可欠です。

AssetsExplorer : 完全に透過的でナビゲートが容易な基になるアセットを表示します。発行された CTT と実際の資産との関係を調べることができます。

それがどのように機能するかを説明しましょう : 強力な地理的到達範囲と影響力を持つ ALLSTOCKS 交換ネットワークは、既存の取引所や証券会社とのパートナーシップ契約を締結するために徐々に開発できます。パートナーシップの結果、ALLSTOCKS は、これらの取引所に大いに必要とされる流動性を提供する一方で、移転時間および手数料

を大幅に削減するために、そのような取引所を持つ留保金の一部を保有することができます。

また、無認可な資産は、無認可の預金の正当な成果と所有権を握るために、オフ・チェーンの存在が必要となります。多くの地域では、資産管理には仲介手数料およびその他の関連するライセンスが必要です。規制は絶え間なく進化しており、進化するにつれ、資産管理者はますます分散化し、よりコミュニティ主導型になっています。結果として、投資家は、**ALLSTOCKS** プラットフォーム上オンチェーンでより多様な実際の金融資産に投資することができます。

ALLSTOCKS ネットワークトークン : 法定通貨による取引のために法定通貨で仲介手数料を支払うのと同様に、**ALLSTOCKS** ネットワークの手数料とコミッションはトークンの形式で徴収されます。さらに、**ALLSTOCKS** ネットワークに関する良い点は、**ERC-20** 互換のすべての取引所に掲載されることです。

ALLSTOCKS インフラストラクチャ

ALLSTOCKS インフラストラクチャは、重要なデータがブロックチェーンに格納されるように構成されます。格納されるデータは、ユーザーの残高およびトランザクションです。ブロックチェーン上でデータが維持されている間は、他のすべてのデータがサーバーに保存されます。CTT の迅速な導入を可能にするために、ツール、フレームワーク、および開発環境がすでに設計されています。また、システムが最適に機能するためには、いくつかのスマートコントラクトが必要です。このプラットフォームのユーザーは、Ethereum のウォレットを保管して使用する必要があります。CTT 取引の普及を促進するために、ツールや投資をヘッジし、使いやすいライブラリやコードが必要になります。CTT スマートコントラクトに関しては、すべての CTT スマートコントラクトは ERC-20 に準拠します。つまり、それらは Ethereum ブロックチェーンで正常に動作します。それが行われている間、ALLSTOCKS のスマートコントラクト（暗号コントラクトとも呼ばれる）は、CTT スマートコントラクトの作業を規制することに専念します。

On-chain Infrastructure : ALLSTOCKS ネットワーク最適化のためにはスマートコントラクトが必要です。

CTT スマートコントラクト : ALLSTOCKS Decentral Stock Exchange に登録された各現実の金融資産は、スマートコントラクトの形で発行されます。一方、CTT スマートコントラクトは ERC20 に準拠します。この時点で、アカウント間で CTT を転送することは、ユーザーのウォレット間で ERC20 トークンを使用することと同じです。

ALLSTOCKS Decentral Stock Exchange : CTT 暗号コントラクトの業務を規制するために、暗号コントラクト専用の Decentral Stock Exchange がその責任を負います。

バッファ : 補助スマートコントラクトとも呼ばれ、ヘルパーは、異なるバージョンを実行する暗号コントラクト間の切り替えや余分な API 機能の使用などの補助機能を実行します。

オフチェーンインフラ : CTT をヘッジツール、トランザクション、投資として迅速に導入するために、アプリ開発者向けの特定のライブラリとコードテンプレートが利用可能になりました。

ツールキット : これは、内部の CTT Limited の IT インフラストラクチャと Ethereum ブロックチェーンとのインタフェースを唯一の目的とするツールです。要約すると、相互作用を組織化し、ALLSTOCKS システムの状態を監視するのに役立ちます。

CTT エクスプローラ : さらに、CTT エクスプローラは、ユーザーが CTT データを表示し、ALLSTOCKS Decentral Stock Exchange の基礎となる実際の金融資産の正しい所有権を手動で確認できるように作成されます。

規制と実施

これに関しては、その欠陥に対処するために、規制の枠組みとシステムの実装に取り組みます。

CTT アーキテクチャー : CTT は実際には、イーサリウムブロックチェーン上に配備されたスマートコントラクトです。堅牢で拡張性のあるシステムを実現するためには、一定の基準を満たす必要があります。これらの基準の中には、高い互換性（既存のトークンを使用して ERC20 をインタフェースする能力）、ルールと規制に準拠するためにアップグレードできること、移行可能（メインストレージからイベントを分離する能力）、必要なすべてのコンポーネント内の相互作用および不変性(一度導入されると変更できません)が含まれます。しかし、既存の方法論に関しては、スマートコントラクトのアップグレードは実装が難しいものの、いくつかのツールや方法論には限界があることに注意する必要があります。

ALLSTOCKS ネットワークの再構築 : ネットワークを再構築するには、お互いに対話するだけでなく、シームレスな更新とアップグレードを提供する洗練されたスマートコントラクトの全体を再構築することによって、退屈で全体的なソリューションを活用する必要があります。

トークンインターフェイスのアップグレード : ネットワークを構築した後、インターフェイスのアップグレードをすばやく考慮する必要があります。トークンインターフェイスは、新しいトークン標準の追加サポートを提供することによってアップグレードできます。ERC20 をトークン標準として使用する前に、新しいトークン標準として ERC233 を使用する可能性があります。これは、既存のシステムアーキテクチャを効果的に活用することによって実現されています。インターフェイスのアップグレードに関しては、最新のトークン標準に対する追加のサポートを提供することによって、トークンをアップグレードすることができます。システムをアップグレードするプロセスでは、CTT は影響を受けません。

CTT 3 層システム : CTT は、以下の三層に再構築されます。ストレージ（すべてのデータを保持）、ビュー（サードパーティ製の契約とアプリケーションのインタフェース）、コントローラ（厳格なコンプライアンスとビジネスロジックを実装し、ストレージを編成し、すべてを表示する契約）。

コンプライアンスの更新 : コンプライアンス を更新するために、新しい CTT コントローラ契約、ストレージ契約、および設定ビューが新しいシステムに導入されます。これらの機能を展開することで、コンプライアンスとビジネスロジックによる CTT への容易なアップデートが可能になります。このプロセスを **スマートレギュレーション** と呼びます。また、ALLSTOCKS Network は、トークンが実際の規制の傾向に準拠していることを保証します。

スマート・レギュレーション・アーキテクチャー : KYC / AML 対策を実施するには、厳密な許可制御が必要です。スマートコントラクトにはチェーン上のデータにしかアクセスできないという固有の制限があるため、スマートコントラクトがアクセスし管理するために、トランザクションの形でデータをブロックチェーンにプッシュする必要があり、設計により、サードパーティーのシステムには存在しません。

さらに、KYC / AML を実装するには、ユーザーデータをチェーン上に格納するか、発生する各トランザクションに KYC / AML ルールを適用するという 2 つの代替ソリューションアプローチを実行できます。

ALLSTOCKS トークンの役割 : システムのアップグレード中、ALLSTOCKS の重要なビジネス要件は、CTT が基礎となる実際の金融資産に縛られることです。この目的のために、オフ・チェーン資産が精査されます。つまり、このプロセスでは仮想交換通貨が必要です。さて、仮想交換通貨は、オン・チェーンとオフ・チェーンの支払いの仲介役となるために必要です。システム間のやりとりだけでなく、オフ・チェーン料金の簡易支払いも可能になります。

近い将来に ALLSTOCKS Network が専用チェーンを提供するためには、移行 プロセス を迅速化するためにトークンが重要になります。そして、このすべてにおいて、CTT が適しています。その理由は、CTT は、プロセス全体が実行されている間は現実の金融資産につながれなければならないからです。ALLSTOCKS トークンは、関連するネットワーク機能へのアクセスを提供することによってネットワークのガスとして機能しますが、ALLSTOCKS ネットワーク自体は、CTT が実際の金融資産につながれることを保証します。

分散的な事業

ALLSTOCKS システムの分権化を実現することは、達成しなければならない最も重要なことです。なぜなら、それはすべての暗号通貨の固有な特徴であり、それが暗号通貨自体を創るからです。物理的資産をデジタル資産に変換するには、財務的および法的なデューデリジェンスのいくつかの必要なオフチェーンアクションを実行する必要があります。さらに、必要な規制の完全な遵守を監督するためには、行政機関が必要となる。長期的には、ALLSTOCKS システムの分散化を促進する規制が進展することが予想されます。

On-chain Digital Identity : 今日では、多くのオン・チェーン・アイデンティティ、アンチ・マネー・ロンダリング (AML)、Your Customer (KYC) がありますが、残念なことに不十分です。したがって、高度な識別ソリューションを実装する必要があります。

送金 : ALLSTOCKS は、法定通貨に対応して送金をサポートします。その結果、ユーザーは世界中の場所に関係なく、簡単に資金を追加して転送することができます。このオペレーションは、設計上、暗号通貨の利用により安くなり、通貨の安定性、安全性、セキュリティは維持されます。このシステムに参加するには、ユーザーがウォレットを所有している必要があります。実際、これらの財布は、これらの通貨を変換するだけでなく、ある人から別の人に資金を移転し、そのような取引を実行する際に最低限の手数料を支払うことを可能にします。これらの支払いおよび移転は、国境を越えた取引でも可能です。

通貨用 API : ALLSTOCKS ネットワークの API 通貨により、ウォレットホルダーは通貨を簡単に別の通貨に変換できます。さらに、ALLSTOCKS は、ユーザーの現地通貨ですべての通貨と支払いを受け入れるシンプルなゲートウェイをユーザーに提供します。さらに、良いことは、これが為替や振込手数料を払わずに行われることです。ネットワークが確立されると、ユーザーは ALLSTOCKS Network の API とライブラリによって可能にされた無関係な支払いゲートウェイを設定することができます。

リアル・ファイナンス・アセットバックトークンの利用

アセットバックトークンは幅広い用途に使用されます。これらの使い方について簡単に議論しましょう：

- **伝統的なものからデジタル的なものへの交換**：彼らは低リスクの方法を提供することができるが、投資への卸売りを通じて投資家に高い利益をもたらす。これにより、従来からデジタルへの資産の交換が可能になります
- **投資のプラットフォーム**：さらに、商品およびマネーマーケットの商品は、ALLSTOCKS を預けて売却することができます。
- **シールドトークン**：組織はマネーマーケット CTT を購入し、完全な透明性でそれらを保管することができます。
- **グローバル転送**：ALLSTOCKS プラットフォームは、不変性、グローバルな採用、信頼性、安定性、転送の容易性などの望ましい機能をすべて備えたトークンを提供することもできます。ALLSTOCKS ネットワークのこのようなトークンがこれらすべての資質を持つ場合、支払いゲートウェイ、送金チャネルなどのサービスを提供することができます。

トークン販売

総トークンの供給：50,000,000 の AST トークン。

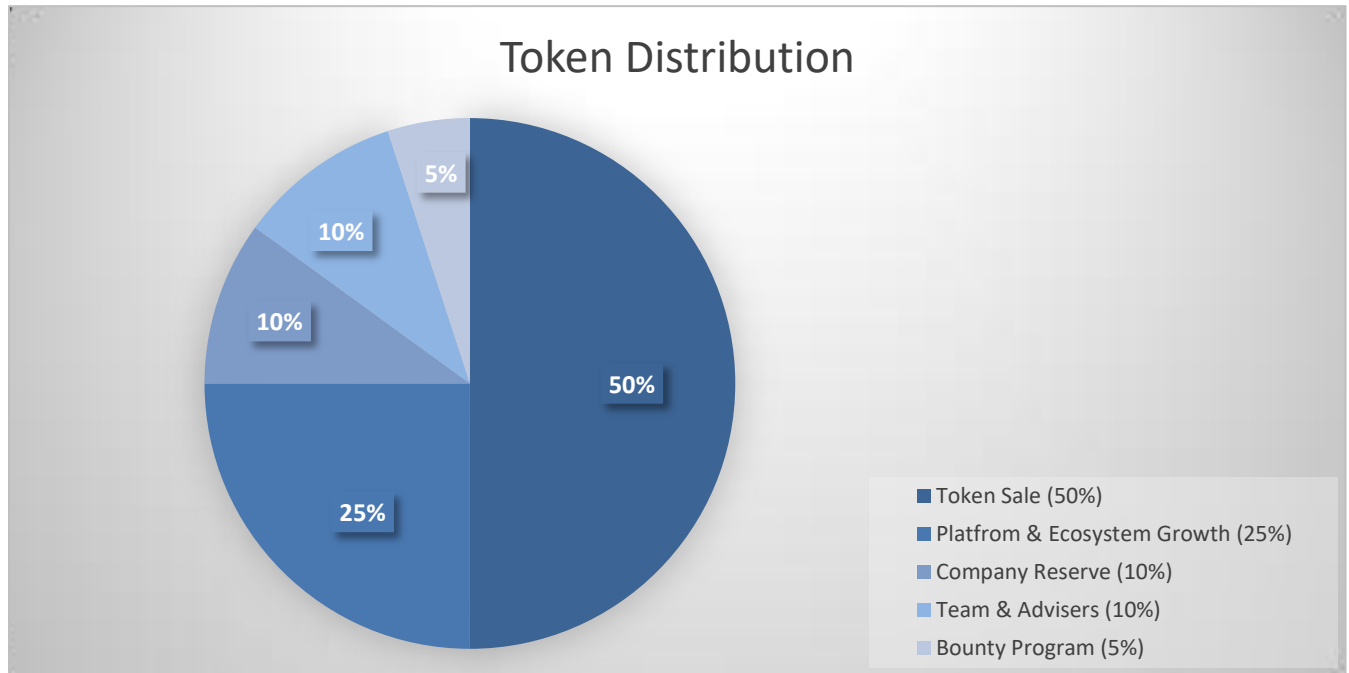
現在の販売では、AllStocks は 25,000,000 の AST トークンを割り当てます。販売は3段階に分かれており、それぞれ早期投資ボーナスを表す為替レートが下げられています。

AST トークン価格：

4月15日～4月30日 **ステージ1**：625 AST = 1.00 ETH (25%ボーナス)

5月1日～6月15日、**ステージ2**：550 AST = 1.00 ETH (10%ボーナス)

6月16日～6月30日、**ステージ3**：500 AST = 1.00 ETH (ボーナスなし)



資金調達目標：\$ 20M ハードキャップ

トークンセールスのタイムライン：

- 発表
3月1日
- 公開プレセール開始 (ステージ1)
4月15日
- 公開プレセール終了
4月30日
- 公開クラウドセール開始 (ステージ2と3)
5月1日
- 公開クラウドセール終了
6月30日
- 完了トークンの配布
7月15日
- トレーディング開始
7月31日

資金の使用

- 30% - 研究開発
- 30% - マーケティング
- 30% - グローバルオペレーション&ブローカーインターフェース
- 10% - アドバイザリー、マネジメント&その他

販売ステージ：

ステージ1：4月15日～4月30日 (ボーナス25%)

ステージ2：5月1日～6月15日 (10%ボーナス)

ステージ3：6月16日～6月30日 (BONUSなし)

投資家の皆様、この 重要かつ画期的な取り組み への信頼と投資に感謝いたします。あなたの投資のために発行されたトークンに対するあなたの信頼は、投資証明書を構成します。この 証明書は、平等に行われる意思決定に基づいて、今後のプロジェクト事業活動利益からの投資へのリターンとして将来の報奨となります。

結論

明らかに、私たちは、既存の技術インフラを活用して現在のシステムと戦う永続的な課題のいくつかに対処することができました。ALLSTOCKS Networkには、実際の金融資産の裏付けとなる暗号トークンのシームレスな取引を可能にする十分に開発されたインフラストラクチャがあります。また、世界中の主要な証券取引所と連動しており、すべての愛好者、金融業者、投資家にとって有益な投資となっています。

さらに、ALLSTOCKS トークンはすでにエスクロー口座に保管されています。20M ドルのハードキャップにより、ALLSTOCKS は間違いなく既存の暗号通貨にお金を払費やします。さらに、様々な ALLSTOCKS 戦略を完璧な予算で割合で割り当てられた合計は、ALLSTOCKS がその傑出した戦略により暗号世界最大のものの一つになるだろうという明白な事実には到達しています。それに加えて、研究開発予算の 30%が ALLSTOCKS の未来が明るいことを意味します。また、トークンの販売スケジュールには、さまざまなキャンペーンの日程が表示されます。すべての愛好家や投資家が購入すべきものです。ALLSTOCKS は、上記のタイムラインが規定されているため、収益に関係なく誰でも参加できます。

さらに ALLSTOCKS トークンは ERC20 と互換性があり、ステークホルダーには世界中の他の暗号取引所で取引できる貴重な機会を提供します。また、トレーダーは、そのような活動を規制するために第三者（ブローカーや銀行など）を必要としないことが良い点です。確かに、これは、暗号世界で 2 番目に人気のあるブロックチェーンである Ethereum で実行される典型的な暗号通貨です。これは、ALLSTOCKS ネットワーク上で、あらゆる規模の投資家と投資家が、容易にかつ柔軟に取引できることを意味します。

注目すべきは、ALLSTOCKS ネットワークへのすべての投資は、JP Morgan Chase (JPM)、ゴールドマン・サックス (GS)、モルガン・スタンレー (MS)、クレディ・スイス (DHY) などのような有名な銀行のエスクロー口座に ALLSTOCKS が保有していることを確実にするためのスタンプが存在することから、安全かつ保護されていることです。実際、ALLSTOCKS ネットワークへの投資は賢明な決定です。

前述のように、ALLSTOCKS ネットワークは堅牢で、安全で、保護され、分散化され、有望です。まあ、これらのすべての機能は、ALLSTOCKS ネットワーク自体、そのインフラストラクチャ、規制と実装、および分散型運用をモデリングすることによって可能になりました。注目すべきは、この手順は全体的で退屈ですが、プラットフォームの利害関係者が投資したいと熱望することを誇るためには慎重に行わなければならないことです。これらの重要なコンポーネントが調和して機能すると、世界の株式や資産市場で革

命を起こすブロックチェーンプラットフォームを提供します。 これを読むだけではなく、好きな起動日を保存してすぐに実行してください。

責任の放棄

このホワイトペーパーの複製、伝達、および普及に関連する法的影響は、ここに含まれており、このベンチャーに参加することを決定する前に、それらを読み、理解することを強くお勧めします。

ALLSTOCKS、ALLSTOCKS ウォレット、および ALLSTOCKS にリンクされたその他のビジネスに付随ものには、他のすべてのビジネスと同様、リスクがあります。さらに、このホワイトペーパーの目的を説明する過程で、これらのリスクが明確になっています。

ALLSTOCKS のエンティティ、取締役および従業員は、いかなる理由においても取引後の損害賠償の責任を負いません、これにはあなたのパスワードの貧弱な維持によるクラッキングからのパスワードの正確な記録も含まれますが、それだけに限定されません

ALLSTOCKS は、事業を開始し、そのウェブサイトを開発するために最善を尽くします。ALLSTOCKS を取得するために着手する者は認識し、理解して いますが、それにより保証が受けられる訳ではありません。したがって、ALLSTOCKS（販売店および従業員を含む）は、ALLSTOCKS を使用することができないことに起因するまたはそれに関連する損失または損害について一切責任を負いません。

あなたは、暗号通貨が法定手数料や税金、例えばキャピタルゲイン税や付加価値税を引き付ける可能性があることをよく理解していることを理解し、同意します。さらに、ALLSTOCKS 自体またはそのディストリビューターではなく、ALLSTOCKS に対する税金の全責任を負うことに同意するものとします。

規制当局は、世界中の暗号トークンに関連する企業や業務を慎重に検討しています。その点で、規制措置、調査または訴訟は、ALLSTOCKS 事業に影響を与える可能性があります。今後の事業展開を制限または中止する可能性があります。

ALLSTOCKS を取得しようとする者は、一部の管轄区域の適用法令による新しい規制および遵守の要件のために、ビジネスモデルまたは発売予定のウェブサイトおよび既存のプラットフォームが変更されるか、または変更される必要があることを認識する必要があります。

そのような場合、購入者および ALLSTOCKS を取得しようとする者は、ALLSTOCKS もその関連会社も、かかる変更によって生じた直接的または間接的な損失または損害については責任を負いかねます。

このホワイトペーパーおよび **ALLSTOCKS** およびその役員および従業員が行ったその他の資料または説明は、投資を行うための招待状とはみなされないものとします。さらに、彼らはいかなる形でも関連していないし、いかなる管轄においても証券の提供とみなされるべきではない。

このホワイトペーパーには、勧告とみなされる可能性のある指示または情報、または投資決定の基礎として使用される可能性のある情報も含まれていません。**ALLSTOCKS** もその代理店や従業員のいずれも法律、税金、財政問題においてアドバイザーとはなり得ません。

買収した **ALLSTOCKS** は、その組織とガバナンスに対する権利または影響を購入者に付与してはならない。

さらに、このホワイトペーパーは、暗号トークンを購入するためのポジションやアドバイスを何ら表していないし、プレゼンテーション後の投資決定の基礎として信頼されるべきものでもありません。

暗号トークンのすべてのディストリビューターは、**ALLSTOCKS** のアフィリエイトとなることに注意してください。このホワイトペーパーでは、**ALLSTOCKS** トークンの売却代金をビジネス、プロジェクト、および事業の資金調達とするプロセスを使用しています。

また、配布や配布が禁止または制限されている国では、このホワイトペーパー、その一部または全部のコピーを配布したり、配布したりしてはなりません。したがって、**ALLSTOCKS** のアフィリエイトまたはディストリビューターは、その点で責任を負わないものとします。

このホワイトペーパーのいかなる部分も、「責任の免責」および「**ALLSTOCKS** のリスクと不確実性」を含めることなく、この文書の権限に反するものとして、伝達または配布すべきではなく、法的な意味合いについて、支持者は説明責任を負いません。

ALLSTOCKS に参加するのに必要なすべての情報は、このホワイトペーパーとウェブサイト提供されています。したがって、**ALLSTOCKS** は、問題の発生源にかかわらず、上記の情報源に含まれていない詳細については説明責任を負いません。

ALLSTOCKS リスクと不確実性

ALLSTOCKS トークンのすべての購入予定者は、この声明により、トークンを取得するオプションを検討する前に、ここに記載されているような関連するリスクと不確実性を読みとることをお勧めします。特定のリスクと不確実性が発生する可能性を完全に排除することはできません。それらが発生した場合、ALLSTOCKS トークンおよびディストリビューターの事業、財務上のリスク、見通しに悪影響が及ぶ可能性があります。